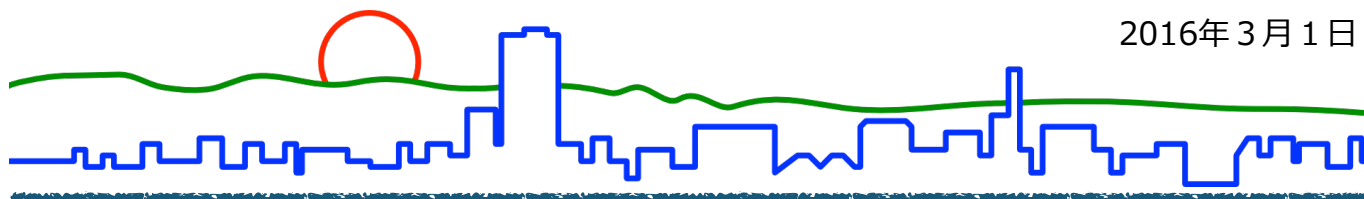


2016年3月1日



## 補助金とIoTと私

はちおうじ総務相談所の長岡です。2月5日から、ものづくり補助金（ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金）の公募が始まりました。締切は4月13日なので、この1か月が勝負なのではないでしょうか。

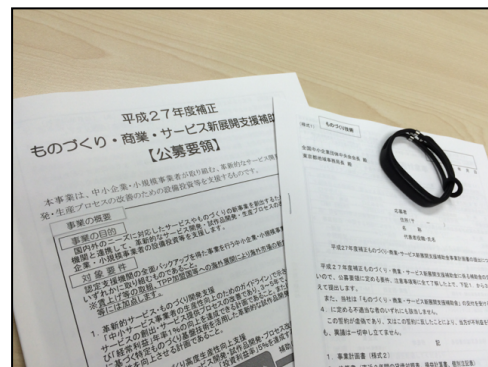
補助金によって設備投資や開発費の負担を減らせるのは、たしかにありがたいことです。しかし、さらに重要なのは、新事業の魅力と自社の強みを掛け合わせるために行う経営資源の見直し、将来の経営改善につながっていくことではないかと考えています。

ちなみに、今回のものづくり補助金では、「高度生産性向上型」という類型が新設されました。IoT（Internet of Things：モノのインターネット）等を用いた設備投資が対象で、補助上限額は3,000万円となっています。国がIoTの推進に力を入れている証拠でしょう。

言葉自体はまだ認知度が低いようですが、IoTはすでに身近なものとなっています。今や多くの人が肌身離さず持ち歩いているスマートフォン、電話にインターネットが……というより、ワープロやカメラがネットにつながり、そこに電話も付属したような感じでしょうか。

最近では、身の回りの情報を収集して、自動的にネットでクラウドなどに転送する機器も増えているようです。そして、集まったデータを我々にも理解できる形に変換してくれるのがスマートフォンということで、気づかいうちにIoT時代に足を踏み入れていたわけです。

私も1か月ほど前から、活動量計というものを身につけるようになりました。腕に付けて生活していると、歩数だけでなく睡眠時間も計測してくれる優れものです。さらに、どういう仕組みか、睡眠の深さまで測ってくれます。もしかすると、知らないうちにトイレの回数などもデータとして収集されているのかもしれませんが。恐ろしい時代になったものですね。



ものづくり補助金の資料と活動量計

## 今月の予定（2016年3月）

15日（火）所得税の確定申告期限

31日（木）消費税の確定申告期限（個人）

## 今月の推薦図書 vol.6

『IoTは日本企業への警告である』

齋藤ウィリアム浩幸 著 2015年 ダイヤモンド社

スマートフォンをはじめとして、身の回りには様々な機器がインターネットにつながるように became。ネットを介して収集されたデータは、生産現場の効率性向上や個人の健康管理など、あらゆる局面で活用されることが期待されています。

以前は手入力していたものを機械が自動的に収集してくれるのですから、世界中で扱われるデータ量は、これまでとは比較にならないほど膨大なものとなるでしょう。もちろん、企業秘密や個人情報なども、どんどんデータ化されていくわけです。

そうすると、情報セキュリティの重要性も強くなってくるのですが、どうやら日本にはそのあたりの認識が甘い企業も多いそうです。アメリカ育ちの著者はそこに危機感を覚えているようで、情報セキュリティの基本的な考え方などが丁寧に解説されていました。

これから本格化するIoT時代を生き残るためには、最新技術を追い求めるだけでなく、それを安全に扱うための知識も学んでおくべきだと感じました。きちんと理解するまでは、一日の歩数など、取られてもいいデータ以外は、ネットにつながらないほうがよいのかもしれない。

## 今月の推薦映画 vol.6

『スティーブ・ジョブズ』

ダニー・ボイル 監督 2016年

アップルの創設者として、また、MacやiPhoneの生みの親として、その死後も多くの人に影響を与え続けるスティーブ・ジョブズ。彼の人生において節目となった3つの発表会を舞台として、その開始直前に繰り広げられた物語を中心に話が進んでいきます。

彼が生み出したiPhoneの爆発的なヒットによって、スマートフォンの普及は一気に進みました。一人一人がネットにつながるパソコンを持ち歩いているのと同じような状態を実現したので、IoT化の加速にもかなり貢献したのではないのでしょうか。

このように、世界に大きな影響を与えた人物であることは間違いないのですが、家族や友人との関係については、あまり幸福ではなかった印象が拭えません。

成果を得るためにどれだけ犠牲を払えるかの判断……「減量のためお菓子を我慢」といった小さなものを含めれば、誰もが日常的に行っていることだと思われます。ただ、目指すものが大きければ犠牲にできるものも大きくなるわけで、ジョブズをはじめとする経営者が、ときに非情な人物として語られることがあるのも、仕方のないことなのかもしれませんね。

## 編集後記

今回はIoT特集にしてみました。推薦図書はわりとすぐに決まったのですが、映画がなかなか選べませんでした。テーマを決めたらすぐに関連する作品を見つけられるように、日ごろからもっと映画を見ておかねばいけなかったなと、深く反省している次第です。

しかし、日本でIoTの認知度が上がらないのは、「モノのインターネット」という表現からイメージが湧かないせいでしょうか。でも、気づいたらデータを集める機器が身の回りにあったわけで、偉い人がわざとわかりにくくしていたのではないかと疑っている今日この頃です。